# 第３編　基本構想

## 第１章　将来都市像

## 第２章　施策の大綱

# 第１章　将来都市像

大洗町の目指す将来都市像を次のとおり定めます。

将来都市像

## 幸せ無限大・
## 不幸ゼロのまち大洗

いつの時代も主役は一人ひとりの住民です。

住民の思いや痛みなどに寄り添い、「不幸」を無くすことによって、大洗に生まれ、育ち、学び、働き、そして住んで、心から良かったと思える暮らし満足度№1のまちを目指します。

大洗小学校 いそはまプラザ

北海道洋上体験学習

元気づくりサロン

大洗町国際交流協会 日本語教室

# 第２章　施策の大綱

まちづくりの基本的な考え方に基づき、以下の施策大綱をもとに、目指す将来都市像「幸せ無限大・不幸ゼロのまち大洗」の実現に向けた取り組みを推進します。

## 政策1　住民の命と生活を守るまちづくり

「不幸ゼロ」のまちづくりを実現するためには、災害対策や医療・福祉といった住民の命と生活を守る取り組みが何よりも大切です。人々の痛みや思いに寄り添い、安全・安心をもたらすまちづくりを推進します。

### 災害対策

激甚化する自然災害に備えるため、防災意識の高揚や地域防災力の向上等ソフト面の対策の強化と災害に強いライフラインの構築・維持等ハード面の整備を図るとともに、国や県、関係自治体等と連携し、原子力災害への迅速かつ的確な防災対策を推進します。

### 安心なまち

警察や関係機関と連携し、多様化・複雑化する犯罪の抑止や、交通事故の予防に取り組み、安全・安心な生活環境を推進します。

### 健康・医療

住民が主体的に健康づくりに参加できるよう、環境整備を図るとともに、地域医療の維持・充実に向けた取り組みを通して、持続可能で安定的な保健・医療体制を確立します。

### 福祉

誰もが福祉の問題を自分自身の問題～「わがこと」意識～として持てる「地域共生社会」を確立し、障害のある人や高齢者をはじめ、様々な支援を必要とする人々が住み慣れた地域で安心していきいきとした生活が送れるよう、地域福祉の充実を図ります。

# 政策2　一人ひとりを大切にする みんなが住みよいまちづくり

あらゆる人たちにとって、「住みたいまち、住み続けたいまち、戻ってきたいまち」大洗を目指し、住みよい環境の整備や多様性の尊重、働く場の確保を図ります。

## 環境

自然環境に配慮し、共生しながら次世代へと豊かな環境を繋いでいく循環型社会の形成と快適でクリーンな環境づくりに向け、地域と一体となったごみの減量化やリサイクルを推進するとともに、環境保護活動や脱炭素社会に向けた取り組みの促進を図ります。

## 暮らしやすいまちづくり

人にやさしいまちづくりを推進することにより、住民をはじめ大洗町に関わる多くの方々が、町に対して愛着や誇りを抱くシビックプライドを育めるよう、地域の魅力を醸成します。

## 新たな産業や働く場の創出

本町の地域特性を活かせる、新たな産業の創出や誘致に努め、働く場の創出と地域経済の活性化を目指します。

## 多様性の尊重と連携協働によるまちづくり

男女共同参画社会の一層の進展はもとより、外国籍住民をはじめとする様々な背景や価値観を持つ住民一人ひとりの人格を大切にするような多様性の尊重を図るとともに、情報発信力の強化を推進することで、住民や地域団体、民間企業等との連携強化を図り、地域課題の解決に繋げます。

# 政策3　観光を中心とした共創による儲かる地場産業のまちづくり

「観光の町」大洗の更なる飛躍を図るため、多業種が相互連携を図り、地域全体で共創による観光地づくりを進めていくとともに、観光地としての盛り上がりを儲かる地場産業の醸成に繋げます。

## 観光

観光と住民生活の両立を目指した、よりグレードの高い観光の町にふさわしい基盤整備を進めるとともに、海に臨む魅力ある地域資源を最大限に活用し、時代の潮流やニーズの多様化を捉えて変化のできる観光地づくりを持続可能な共創のもとで進めます。

## 水産業

魅力ある水産資源を活用し、水産加工業者や関係機関と最大限連携しながら、地域ブランド化を促進して儲かる水産業を実現するとともに、魅力ある水産業の環境づくりを行い、担い手の確保や後継者育成を促進します。

## 農業

農と繋がる地域資源を活用し、基盤整備による生産性向上やブランド化・6次産業化を進めることで儲かる農業を実現するとともに、認定農業者の確保や担い手の新規就農者の支援など、あらゆる角度から担い手の育成を図ります。

## 商工業

商店街の賑わい創出を図るとともに、創業支援や人材育成などの担い手の確保や空き店舗活用などの環境整備の取り組みを推進し、活性化の好循環が確立することを目指します。

2024 年大洗あんこう祭
大洗大使　蝶野正洋氏
（2024 年当時）
画像提供：(株)バンダイナムコフィルムワークス

## 政策4　大洗の未来を担う人財を育てるまちづくり

ライフステージに応じた切れ目のない子育て支援体制と子どもが個性や能力を発揮し、いきいきと活躍できる成育・教育環境をつくり、大洗の未来を担う人財を育てるとともに、住民が世代を超えて学ぶことができる地域づくりを進めます。

### 幼児期の教育・保育と子育て支援

切れ目のない親と子への健康支援や相談体制、医療費への支援など、子育て支援体制の充実に努めるとともに、多様なニーズに対応できる保育環境の整備を図ります。また、生活習慣の基礎や規範意識が培われる支援、遊びのなかで育まれる学びの充実にも取り組みます。

### 学校教育

グローバルに変化する社会のなかで生き抜く、豊かな人間性と健やかな心と体、確かな学力を育む教育を推進します。また、地域資源を活用した大洗らしい教育の充実を図るとともに、学校と家庭、地域が連携した、一人ひとりの状況に応じたきめ細かい支援にも取り組みます。

### 生涯学習

住民の世代を超えた多様化する学習ニーズに応えるため、社会教育活動の推進やスポーツ推進事業の充実、芸術文化の振興など幅広い学習活動を支援するとともに、郷土に存在する歴史資源を調査・保存し、郷土教育や観光資源として住民が活用できるようにします。

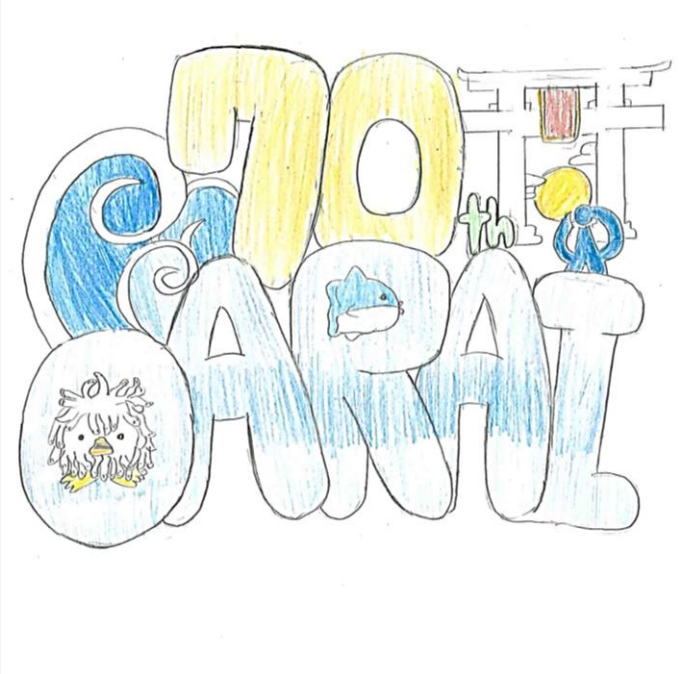
## 政策5　持続可能な行財政運営によるまちづくり

PDCAサイクルによる取り組み内容の評価・検証の仕組みを継続することで、長期的視点に立った、計画的・効率的で持続可能な行財政運営を実現します。

# 大洗町誕生70周年記念ロゴマーク応募作品の紹介

応募のあった105点の中から、その一部をご紹介いたします。

## 佳作（７点）

**【応募者】**
増田　萌々花さん
**【学校・学年】**
南小学校６年生
**【応募時のコメント】**
70周年の「0」と「OARAI」の「O」を重ね合わせました。また、毎年多くの観光客が訪れ、大洗町の観光名所の一つである神磯の鳥居とカジキを組み合わせました。

**【応募者】**
江橋　慧玲奈さん
**【学校・学年】**
第一中学校１年生
**【応募時のコメント】**
大洗といえば、というものを入れてみました。たとえば大洗のマスコットキャラクターのアライッペ、磯前神社の鳥居、そして大洗サンビーチの波を描いてみました。